

授業アンケート集計結果【英語科】

附属中学校 教務部

対象 令和4年度 1J生徒(301名)
2J生徒(285名)
3J生徒(289名)

《アンケート項目》

- 1 毎回の授業の目標が明確に伝わっている。
- 2 声の大きさや話すスピードはちょうど良い。
- 3 白板(スライドを含む)はわかりやすく工夫されている。
- 4 宿題(課題)の量や内容はちょうど良い。
- 5 授業の進み方や内容(難易度)はちょうど良い。
- 6 授業によって興味・関心がわき、自ら学びたいと感じた。
- 7 授業内容に満足している。

《回答》 A: そう思う

B: ややそう思う

C: あまりそう思わない

D: そう思わない

* 「国語Ⅰ」、「国語Ⅱ」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」のように、教科内で科目が分かれ、担当者が別の場合は、各担当者ごとにアンケートを実施し、その回答の合計によって割合を算出した。

《教科のコメント》

各学年ともA、Bの割合が高いことから、生徒の授業に対する満足度は高いと思われます。特に第1学年ではAの割合が他学年よりも高くなっていますが、学年が上がるにつれ、割合が減ってきているのが明らかです。入学当初のモチベーションをどう維持していくかが、教科の課題だと感じています。また項目4に関しては、他の項目と比較してA・Bの割合が低くなっています。本校では実践的な英語コミュニケーション力の育成を目指し、日々授業作りに励んでいます。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成するためには、ある程度の語彙・表現をインプットする必要があります。第2・3学年になると、英語は他教科と比較し授業時間も長く、課題やインプットする量に負担を感じる生徒が多いと思います。生徒たちが前向きに英語を学習するためには、従来のテキストを用いた授業を行いながらも、プレゼンテーションやアクティビティなど、生徒が発話する機会を多く持たせることが大切だと感じています。アンケートの結果を真摯に受けとめながら、生徒たちの英語学習へのモチベーションUPを最優先とし、授業作りの工夫をより一層努めて参りたいと思います。

